

岩手大学釜石キャンパスだより

釜石キャンパスの人と取り組みを紹介します

今回は、3年生の皆さんにお話を伺いました。釜石に来て間もない、もしくは来釜予定の皆さんは釜石にどんな印象を持っているのでしょうか。



左から松井さん、若尾さん、吉田さん、照屋さん（オンライン参加）

農学部食料生産環境学科
水産システム学コース 3年

松井 幸笑さん
若尾 加幸さん
吉田 怜鷹さん
照屋 舞さん

海や水産に興味を持ったきっかけは？
松井 神奈川県出身で、地元は海というより川になじみが深い地域です。動物が好きで、高校の科学研究部でミナミヌマエビを2年間研究した経験から興味が深まりこの道を選びました。

吉田 2歳までは釜石に住んでいて、県内陸部に引っ越しました。祖母がホタテの養殖をしており、近年貝毒が深刻で頭を悩ませていたため、釜石で貝毒を研究したいと思ったのがきっかけです。

照屋 沖縄県出身で、南の海で釣りなどに親しんできました。東北との地縁はないのですが、せっかくの進学なのであって遠く、東北の海を勉強しようと思って釜石に来ました。

釜石の印象や、やってみたい・楽しんでいることなどありますか？
松井 釜石の人には当たり前かもしれないですが、盛岡から来たので海が見える景色が新鮮です。海があるためか気候も温かい、道路が凍らないという印象が強いです。アル

バイトで中学生への学習支援をしています。明くる人懐こい子どもたちが多いと感じます。これからは魚の捌き方をおぼえて料理上手になりたいです。また、釜石はカフェが多い印象があるのでカフェ巡りもしてみたいです。

若尾 ソイを研究しているので、サンブルの採集も兼ねて釣りをして楽しんでいます。土日は釣り場が混むので学校で研究をしていることが多いです。研究をしていく上で水産業を始め地元の皆さんとのつながりを大事にしていきたいです。引っ越してきて真っ先に思ったのは鹿が多い！ということでした（笑）。沿岸ならではの海の風景も気に入っています。

吉田 坂が多い、というのが釜石の第一印象でした。今後は行動範囲を広げ、自然豊かな風景の写真をたくさん撮りたいと思っています。釜石は静かなので、本を読んだり、勉強をするのにもいい環境だと思います。釜石の食べ物では道の駅の醤油ソフトクリームがおいしかったですし、オススメです。

照屋 現在は盛岡で研究をしています。春に釜石へ引っ越す予定で、東北の魚を釣るのが楽しみです。また、ダイビングサークルに所属しているので釜石の海にも潜りたいです。

釜石での日々が良いものになることを祈っています。本日はありがとうございました。

岩手大学釜石キャンパスだよりは今回が最終回です。今後も広報かまいしでは岩手大学と市の連携した取り組みを随時お知らせします。

いのちの写真展

追悼演奏2月7日【魚河岸テラス】、写真展2月11日【市民ホールTETTO】



青く澄んだ空と海に優しい音色が響き、行方不明者の家族や参加者は、鎮魂の祈りをささげました

いのちの写真展は、北上市の笹原留似子さんが実行委員会の代表として取り組む追悼イベントです。これまでは、北上市で開催されてきましたが、今年度は震災から10年の節目の年として被災地である釜石市で開催されました。

7日の追悼演奏では、市民吹奏楽団の有志が海に向けて「花は咲く」と「ふるさと」を演奏。笹原さんは「この演奏がまだ家族の元へ帰れない人に届き、心がつながるよう願う」と話しました。

11日には、笹原さんが描いた絵日記や「いのち新聞」、自衛隊、海上保安庁、警察、消防の活動記録写真など約700点を展示。明日を生きる勇気につなげたいとの思いで開催されました。



震災当時の写真や資料に見入る来場者

冬の星空観望会

2月12日【根浜オートキャンプ場】

澄んだ星空を見上げ、大気環境について考えることを目的とした星の観望会が行われました。(株)かまいしDMCの有志で結成された「かまいしDMC天文部」の皆さんを講師に、前半は室内で星座の観察方法や星座にまつわる神話の学習を、後半はグラウンドに出て実際に双眼鏡を使った星の観察を行いました。当日はあいにくの曇り空でしたが、雲の切れ間から星が見える度、参加者からは歓声が上がりました。



冬の星座は「冬の三大角」を目印に探すと見つけやすいそうです

令和2年度岩手大学地域連携フォーラムin釜石

2月21日【市民ホールTETTO】

岩手大学との産学官連携の取り組みを市内に還元することを目的としたフォーラムが開催されました。大学から連携事例が報告された他、SSH（スーパーサイエンスハイスクール）に指定されている釜石高校の生徒による「廃材の活用」「空き家のリノベーション」の研究発表、(株)釜石電機製作所専務取締役の佐藤太郎さんによる光触媒技術について発表も行われました。本年度は感染症予防のため発表者以外はオンラインで参加。活発な質疑応答が交わされました。



パネルディスカッションでは、それぞれの興味・関心による取り組みを連携することが釜石の未来につながっていくことを確認しました

東日本大震災復興祈念試合 岩手ビッグブルズ対岐阜スーパース

2月13日・14日【市民体育館】

バスケットボールB3リーグの岩手ビッグブルズ対岐阜スーパースの試合が行われ、会場には、両日ともに約500人の観客が来場。スピーディーな試合展開や外国人選手の豪快なダンクシュートに観客は魅了されました。この試合は、東日本大震災復興祈念試合として開催され、試合後に選手らは「バスケットボールができることに感謝し、一生懸命プレーする姿を見せ元気や勇気を届けたい」と話しました。試合は、岩手ビッグブルズが見事2連勝しました。



この試合で岩手ビッグブルズの選手は、釜石市出身の小林寛さんが描いたアートがデザインに組み込まれた紺色のユニフォームを着用しました